

平成29年度 森林講座のお知らせ

多摩森林科学園において、研究の成果等を分かりやすく解説する森林講座を開催しております。多数のご来場をお待ちしております。

第6回
11月17日
[金]

木材とプラスチックを融合させて つくる新しい材料（混練型WPC）

デッキ材などのエクステリア資材として広く利用されている木材とプラスチックを融合させた新しい材料（混練型WPC）の製造・利用技術についてご紹介

〈講師〉 木材研究部門 木材改質研究領域 主任研究員 小林 正彦



第7回
12月20日
[水]

森から生まれる新たな資源 ビジネス —木材成分リグニンで町おこし—

スギ材の約3割を占める「リグニン」という物質の持つ素晴らしい可能性と、中山間地域から工業材料を製造・出荷する新しいビジネスについてお話しします。

〈講師〉 戦略研究部門 新素材研究拠点長 山田 竜彦



第8回
1月19日
[金]

森の沢の水に放射性セシウムは 含まれているのか？

福島原発事故により放出されて森に降った放射性セシウムは、ほとんどが森の中にとどまり、わずかししか流出しません。そのしくみについて解説します。

〈講師〉 森林研究部門 立地環境研究領域 土壌特性研究室長 小林 政広



開催概要

【時間】 各日午後1時15分～午後3時 【会場】 多摩森林科学園 森の科学館 【定員】 40名(要申込、先着順)

【受講料】 無料(要入園料 大人300円 高校生以下50円 ※年間パスポートもご利用できます。)

申込方法

- 電子メールまたは往復はがきでお申込みください。
- 電子メール本文または往信はがき裏面に、下記についてご記入ください。
① 受講ご希望講座名・開催日 ② 郵便番号・住所 ③ 受講者名(3名まで可) ④ 電話番号
- 受け付け期間は、各講座開催日の前月の1日から講座開催日の1週間前までです。
- お申し込みは先着順で受け付け、定員に達した時点で締切ります。
- 受け付けましたお申込みに対し、先着順で順次ご連絡いたします。
- 電子メールの宛先 ▶ shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp
往復はがきの宛先 ▶ 〒193-0843 八王子市廿里町1833-81 多摩森林科学園
- お問合せ先 ▶ TEL:042-661-1121



電子メール送付先
QRコード

平成29年度 森林総合研究所公開講演会 ～木を使って守る生物多様性～

森林総合研究所では、「木を使って守る生物多様性」をテーマに、公開講演会を開催します。今回は、人工林を適切に管理していくことが生物多様性の保全にどのように役立つのかについて、最新の研究成果に基づいて解説します。招待講演はテレビでおなじみの五箇公一さんです。他の講演も一般の方向けのやさしい内容をめざします。皆様、ぜひご参加下さい。

開催日時：平成29年10月24日(火) 13:20～16:40
会場：ヤクルトホール(東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルト本社ビル)

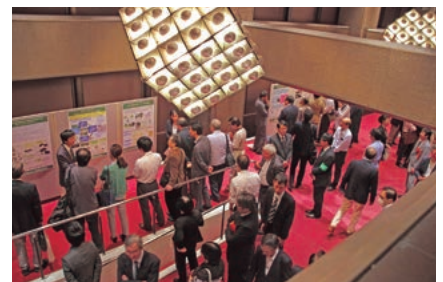
入場
無料

予約
不要

タイムスケジュール

- 13:20 開会(司会) 理事 田中 浩
- 13:20 - 13:25 開会挨拶 理事長 沢田 治雄
- 13:25 - 14:05 招待講演 森が育む生物多様性と私たちの生活
国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター室長 五箇 公一 氏
- 14:05 - 14:55 木材を使うことと、生物多様性を守ることの両立をめざす森林管理
(前半の部) 研究ディレクター 尾崎 研一
歴史資料から知る過去の林野利用
関西支所 チーム長(森林土壌資源担当) 岡本 透
- 14:55 - 15:30 ポスター発表
- 15:35 - 16:35 生物多様性の鍵となる溪畔林の役割と管理
(後半の部) 研究評価科 研究評価室長 吉村 真由美
生物多様性に配慮した人工林施業を考える
森林植生研究領域 領域長 佐藤 保
生物多様性の保全に向けてー今後の展望ー
生物多様性研究拠点 拠点長 岡部 貴美子
- 16:35 - 16:40 閉会挨拶 理事 桂川 裕樹

昨年の様子



問い合わせ先 森林総合研究所 企画部 広報普及科広報係 TEL:029-829-8372 Eメール:kouho@ffpri.affrc.go.jp

公開講演会の最新情報はこちらでご確認できます ⇒ <https://www.ffpri.affrc.go.jp/event/index.html>

森林総合研究所研究報告



Vol.16 No.2(通巻442号) 2017年6月
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/bulletin/index.html>

総説 生物多様性オフセットによるノーネットロス達成の生態学的課題

小山 明日香、岡部 貴美子

論文 セイヨウハコヤナギの葉における乾燥・塩ストレス応答性ガラクトシール合成酵素(Galactinol synthase, GolS) 遺伝子の単離とGolS 過剰発現ポプラの解析(英文)

宮澤 真一、西口 満、古川原 聡、田原 恒、毛利 武、掛川 弘一、横田 智、楠城 時彦

森林総合研究所千代田苗畑(茨城県かすみがうら市)のチョウ類相 井上 大成

短報 大規模森林開発地判読のための道路網抽出

齋藤 英樹

ノート ホンシメジ *Lyophyllum shimeji* は閉鎖実験系で、外生菌根共生を伴わずにセイヨウハコヤナギ *Populus nigra* の根の形態を変化させ、植物の地上部の成長を促進する(英文)

村田 仁、山田 明義、遠藤 直樹、早川 記央、丸山 毅、伊ヶ崎 知弘、毛利 武、横田 智、山中 高史、田原 恒、根田 仁

研究資料 インドネシア共和国東カリマンタン州バリクパパン近郊の低地で採集された糞虫(鞘翅目:コガネムシ上科食糞群)のリスト(英文)

上田 明良、ディアン・ドウィパドラ、ウォロ・ノエルジト、スギアルト、近 雅博、越智 輝雄、高橋 正義、福山 研二

小川試験地における29樹種の胸高直径ー樹高関係

正木 隆、中静 透、新山 馨、田中 浩、飯田 滋生